　　様式　２－１

　　　　第２５回全国果樹技術・経営コンクール推薦理由及び経営概況

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 農業経営体

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 都道府県名 |  | 主要果実品目 |  |  |
| 氏　名　(ふりがな)  （生年月日、年齢） | 年齢(　　歳) | | |
| 住　所　(ふりがな) | 〒 | | |
| 電　話　番　号 |  | | |

注）１　法人等経営の場合は、氏名欄にその名称、代表者名、設立年月日を記入

　　　　２　夫婦連名の場合には、氏名欄にそれぞれの氏名、年齢を記入

Ⅰ．推薦理由

　　注）Ａ４タテ用紙にワープロ横書き（40字/行、40行/頁）とする。

１．推薦要旨（800字程度）

　　　（審査基準（本要領の別添）からみて強調したい事項について、それぞれ簡潔に記述する）

２．対象経営を取り巻く環境（500～1000字程度）

　　（特徴的な事項を中心に簡潔に記述する）

　(１) 立地条件

○　当該事例の所在する地域、市町村の自然的及び経済的立地条件を簡潔に記述する。

　　　　・自然的立地条件（標高、平均傾斜度、地質、土壌、気温（最高、最低、平均）、降水量、年間日照時間、水利等）

　　　　・経済的立地条件（消費地との距離等交通条件、公道へのアクセス等）

○　必要に応じて園地の状況が明らかとなる地図を添付。

　(２) 地域の果樹農業事情

○　地域の果樹農業の発展の経緯、産地ブランドの確立に向けた生産・出荷・販売等への取組、基盤整備等生産環境の整備への取組等、対象経営を取り巻く地域の果樹農業の状況

３．対象経営の概況（2500～4000字程度）

　　（各項目について記述するものとし、強調したい項目は詳しく記述する）

　(１)経営の履歴

○　経営主の略歴（法人等経営の場合は法人化又は共同化の経緯、人の構成等）、経営発展の経緯、地域の果樹農業の展開・発展との関わり等

　(２)経営の状況（概況を記述し、経営的特色は（３）として特記する）

○　農業経営全体に占める果樹作部門の位置付け（労働時間、粗収益等）

　　○　経営戦略・経営計画、販売戦略、経営の成果（販売・出荷量、額）等

　　○　品目・品種構成、年間栽培・作業体系、雇用労力確保対策等

　　○　経営主の配偶者、後継者等の経営に占める役割等

　　　　（家族経営協定を締結している場合には家族経営協定書を添付する。）

　(３)経営的特色

○　その地域の他の果樹経営に比較して優れている経営的特色として、特に、経営管理の工夫、規模拡大・園地集積、労働力確保、省力・低コスト化、販売・出荷面での工夫、加工等付加価値化の取組等について

　(４)技術的特色

○　その地域の他の果樹経営に比較して優れている技術的特色として、特に、高品質化、省力・低コスト化、園地整備、環境対策の取組等について

　　（注）環境対策：環境保全型農業、ポジティブリスト制度（記帳、周辺農家との話し合い等）及びＧＡＰ（農業生産工程管理）の取組等

　(５)地域への波及効果

　　○　対象経営が地域の果樹農業に与えている影響、消費者の農業理解への貢献及び地域における農業活性化・後継者育成の活動等について出来るだけ具体的に

　(６)今後の経営展開

　　○　今後の経営展開に対する考え方・方向、投資計画（構想）、販売戦略等

　　○　今後の経営展開に当たっての課題、課題解決に向けての経営としての取組、地域的取組等

Ⅱ．経 営 概 況

|  |  |
| --- | --- |
| 経 営  　 類 型 |  |

　注）「経営類型」は「果樹専業・温州みかん専作（露地）」、「果樹専業・温州みかん専作（露地、ハウス）」、

「果樹専業・りんご、なし複合」、「水稲との複合・りんご、もも」等その経営のタイプが分かるように

記入する。（露地栽培と施設栽培は別区分とする。）

　１．(１) 経営規模　　　　　　　　　　　　　(２) 果樹品目別面積　((1)の｢果樹園面積｣の内訳)

|  |  |
| --- | --- |
| 品目 | 栽培面積（うち成園） |
| ① | ａ（　　 　 　 ａ） |
| ② | ａ（　　 　 　 ａ） |
| ③ | ａ（　　 　 　 ａ） |
| ④ | ａ（　　 　 ａ） |
| ⑤ | ａ（　　 　　 ａ） |

|  |  |
| --- | --- |
| 総経営耕地面積 | a |
| 水田 | a |
| 普通畑 | a |
| 果樹園 | a |

注）「品目」は、りんご、ぶどう、温州みかん等果樹の種類

　の別を記入する。

ただし、同一果樹でも露地栽培と施設栽培は区別する。

２．果樹作関係主要機械・施設の整備状況

　（１）主要機械

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 種　　　　類 | 台数 | 仕　　　　　　　様 | 導入年 | 備考 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

注）主要機械とは、主として果樹作用のものとし、専ら他作目用（例コンバイン、飼料配合機等） のものは除く。

（２）主要施設

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 摘　　　　　要 | 構　　造 | 規模（面積・延長等） | 建築年 | 備考 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

注）１　主要施設とは、主として果樹作用の農用建物（倉庫）等、農用構造物（果樹棚）、園芸施設（ガラス温室、ケーブル、スプリンクラ－、ビニ－ルハウス、加温施設等）とする。

２　その機械・施設が共有の場合は、備考欄に「○○人で共有」と明記する。

３．農業労働力の状況

（１）農業従事日数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 家  族 | 続柄 | | 年令 | | 年間農業  従事日数 | | うち果樹  農業従事  日数 | | うち品目別 | | | 主たる分担作業 |
| 品目①  ( ) | 品目②  ( ) | 品目③  ( ) |
|  | |  | | 日 | | 日 | | 日 | 日 | 日 |  |
| 雇  用 | 常  雇 | 性別 | | 年令 | | 年間雇用日数 | |  | | | |  |
|  | |  | |  | |
| 臨時雇用 | | | | | 延べ雇用日数　　　　　　　　　　　　　（人・日） | | | | | |  |

　注）主たる分担作業の欄には摘果、収穫、剪定、農薬散布等主に従事している作業名を記入する。

（２）１０ａ当たり総労働時間

|  |  |
| --- | --- |
| 品目・品種 | １０ａ当たり総労働時間　　（うち「生産関係労働時間」） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

注）１　「品目・品種」欄の品目については１.(２)の果樹品目別面積の品目と同じとし、

品種については経営の主力となるものについて記入する。

２　１０ａ当たり総労働時間については「別表１」から転記する。

３　概数で可。

４．果樹生産の概況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目・品種 | 収穫面積 | | | 収　　　穫　　　量 | | | | |
| 前々年産  (R２年) | 前年産  (R３年) | 当年産  (R４年) | 前々年産  (R２年) | 前年産  (R３年) | 当年産  (R４年) | ３か年平均 | |
| 収穫量 | 10a当たり |
|  | a | a | a | kg | kg | kg | kg | kg |

注）１　「品目・品種」欄の品目については１.(２)の果樹品目別面積の品目と同じとし、品種については

経営の主力となるものについて記入する。

２　３か年平均１０ａ当たり収穫量は３か年の総収穫量を３か年の延べ収穫面積で除して得た値を

記入する。

５．販売方法別の割合

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目  ・品種 | 販　　売　　方　　法　　別　　の　　割　　合 | | | | | | |
| 農協 | 個人で  市場出荷 | 集荷業者 | スーパー等へ直接出荷 | 直売  （宅配含） | 観光園 | その他 |
|  | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ | ％ |

注）　「品目・品種」欄の品目・品種については、第４表と同じものを記入する。

６．果樹作経営の成果

（１）過去３か年の実績（経営全体）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 前々年産  (R２年) | 前年産  (R３年) | 当年産  (R４年) |
| 粗収益 |  |  |  |
| 経営費 |  |  |  |
| 所得 |  |  |  |

注）１　本表は審査の際にのみ用い、公表しない。

　　　　２　経営費には、果樹共済等の生産者拠出金を含め、所得には果樹共済支払額等を含めて記載する。

　　　　３　概数で可。

（２）当年産（令和４年産）の粗収益（経営全体）

|  |  |
| --- | --- |
| 品　　　目 | 粗　　収　　益 |
|  | 千円 |
| 計 |  |

注）１　本表は審査の際にのみ用い、公表しない。

２　概数で可。

３　品目別の区分はりんご、ぶどう、温州みかん等果樹の種類別に記入する。

ただし、同一果樹でも露地栽培と施設栽培は区別する。

４　当年産の経営収支状況については「別表２」も記入する。

(３）当年産所得（率）の特徴

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

注）１　本表は審査の際にのみ用い、公表しない。

　　　２　地域的に見た所得（率）の特徴を記述する。

３　特に所得（率）が地域平均よりも少ない場合や当年産所得が減少している場合の理由等を記述する。

７．園地の状況（必要に応じて記入）

（１）これまでの園地整備、品目・品種更新等の状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　次 | 対象品目・品種 | 面　積 | 整　備　等　の　内　容 | 備　考 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

注）１　自力整備、補助事業による整備等主要なものについて年代順に記入する。

　　　２　｢面積｣は、面的なもののみでなく、農道、水路等線的整備にかかるものの受益面積も記入する。

（２）現在の園地の状況

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

　注）　園地の団地化の状況、園地の形状、傾斜等及び農道等へのアクセス、作業道、ケ－ブル等資材や収穫物の搬出入条件並びに灌漑、排水等水利条件について、簡潔に記入する。

　別表１

　１０a当たり総労働時間

　　（様式３－１経営概況のうち表３ （２） の内訳）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 品　目 ①  （　　　　） | 品　目 ②  （　　　　） | 品　目 ③  （　　　　） |
| 整　枝　・　剪　定  　　施　　　　　　　肥  　　中　耕　・　除　草  　　薬 剤 散 布  　　薬剤以外の防除  授　粉　・　摘　果  　　袋　　　か　　　け  　　菰かけ・防風・防霜管理  　　かんがい・その他管理  　　収　穫　・　調　製  　　生 産 管 理 労 働 | 時間（うち雇用）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　）  　　　（　　　　） | 時間（うち雇用）  　　（　　　　）  　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　） | 時間（うち雇用）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　）  　　（　　　　） |
| 生産関係労働時間　　計 | （　　　　） | （　　　　） | （　　　　） |
| 選別・包装・荷造り  搬出・出荷  販売 | （　　　　）  （　　　　）  （　　　　） | （　　　　）  （　　　　）  （　　　　） | （　　　　）  （　　　　）  （　　　　） |
| 小　計 | （　　　　） | （　　　　） | （　　　　） |
| 合　計 | （　　　　） | （　　　　） | （　　　　） |

　注）１　「品目」は、経営の主力品目とする。（同一果樹であっても、露地栽培と施設栽培は別品目とする。）

　　　　　単一品目経営の場合は、経営の主力品種について記入する。

　　　２　生産関係労働時間の内訳については、推薦理由に関係がない場合は省略しても構わない。

　　　３　作業の内容については、次葉の｢１０ａ当たり総労働時間｣の記入上の注意参照のこと。

　　　４　概数で可

◎　「１０a当たり総労働時間」の記入上の注意

作業の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 作　　業 | 作　　　業　　　内　　　容 |
| 整　枝　・　剪　定 | 整枝・剪定、誘引、新梢管理、整枝・剪定の準備作業と後片付け |
| 施　　　　　　　肥 | 施肥溝堀、肥料の配合、肥料の運搬、肥料散布 |
| 中　耕　・　除　草 | 中耕、除草、除草剤の散布、敷草、草刈り |
| 薬　 剤 　 散　 布 | 病害虫の予防及び駆除のための薬剤散布 |
| 薬散以外の 防除 | 粗皮はぎ、バンド誘殺、病葉病果の埋込み、野ねずみ対策、モニリヤ病対策、誘蛾灯管理等薬剤散布以外の防除作業 |
| 授　粉　・　摘　果 | 摘花、摘房、摘粒、摘果、人工授粉、薬剤による摘花・摘果、ジベレリン処理 |
| 袋　　　か　　　け | 袋作り、袋かけ、除袋（収穫時を除く） |
| 菰かけ・防風・防霜管理 | 菰かけ、防風垣の設置補修と手入れ、防霜、台風対策としての支柱立て作業 |
| かんがい ・ その他管理 | かんがい、果樹棚の清掃、果樹棚の経常的修繕、園地の清掃、緑肥のは種、緑肥の刈取り及び上記の作業分類に含まれない一切の作業 |
| 収　穫　・　調　製 | 収穫、収納運搬、収穫時の除袋、果実着色 |
| 生 産 管 理 労 働 | 集会出席（打合せ等）、技術習得、簿記記帳等 |
| （以上「生 産 関 係 労 働 時 間」） | |
| 選別・包装・荷造り | 個人で選別、包装、荷造りする場合の作業 |
| 搬　出　・　出　荷 | バラで選果場等に搬出する作業、荷造りしたものを市場又は集荷場へ出荷する作業 |
| 販　　　　　　　売 | 直売所等農家が直接販売する場合の作業 |

別表２

当年の果樹作経営の収支状況

（様式３－１経営概況のうち表６（２）当年産の内訳）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 果樹作  経営全体 | 品目①  （ ） | 品目②  （ 　） | 品目③  （ ） |
| 生 産 量 （収 穫 量）  販　売　量  粗　収　益  果 樹 作 経 営 費 | kg  kg  千円  円 |  |  |  |  |
| うち雇 用 労 賃 費  　 種 苗・苗 木 費  　 肥　　料　　費  　 農 業 薬 剤 費  　 諸 材　料 費  　 光 熱 動 力 費  　 農 機　具 費  　 農 用 建 物 費  　 うち 園 芸 施 設 費  　 賃 借 料・料 金  　 土地改良費・水利費  　 支　払 い 小 作 料  　 物件税・公課諸負担  　 負　債　利　子  　 果樹共済等生産者拠出金  　 そ　　の　　他 | 円  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃  〃 |  |  |  |  |
| 果 樹 作 農 業 所 得  (うち果樹共済支払額等) | 〃  〃 | （ 　 ） |  |  |  |
| 生産性・収益性指標  総労働1時間当たり生産量  家族労働1時間当たり所得 | kg  円 |  |  |  |  |

注) １　本表は審査の際にのみ用い、公表しない。

　 ２　「品目」は、経営の主力品目とする。（同一果樹であっても、露地栽培と施設栽培は別品目とする。）

３　「果樹作経営費」は、当年の果実生産のために要した費用（いわゆる生産費）のみではなく、 果実の生産に加え、個人が行う選果、出荷、販売までを含んだ経営活動のために当年必要とした（負担・支出した）金額である。

また、過年産果実にかかる経費、あるいは来年産果実にかかる経費であっても、その支出が当年に行われれば当年の経営費として扱うことになることに注意。

４　「果樹作経営費」の内訳については、次葉の「当年の果樹作経営収支状況」記入上の注意を参照のこと。

５　「生産性・収益性指標」のうち総労働時間１時間当たり生産量は、本表記載の生産量（収穫量）を、別表１の10aあたり総労働時間(雇用労働を含み、整枝・剪定から個人が行う選果、出荷、販売までの総労働時間)を経営全体又は品目毎の収穫面積当たりに換算した数値で除して算出する。

同じく家族労働１時間当たり所得を計算する場合は、本表記載の果樹作農業所得を、別表１記載の10aあたり労働時間（雇用労働時間を除いた労働時間）を収穫面積当たりに換算した数値で除して算出する。

◎「当年の果樹作経営の収支状況」記入上の注意

　 経営費の費目内容

|  |  |
| --- | --- |
| 費　　目 | 内　　　　　　容 |
| 雇　用　労　賃　費 | 雇用労働者への支払い賃金総額（現物支給を含む） |
| 種　苗・苗　木　費 | 種苗や苗木購入額、成園木の減価償却費から未成園の成育に伴う増加額  (未成園肥培管理費計－当年の生産物収入額)を除いた額 |
| 肥　　　料　　　費 | 自給肥料投入額、購入肥料の当年の購入額  (当年の投入額ではない。以下同じ) |
| 農　業　薬　剤　費 | 殺菌剤、殺虫剤、除草剤、摘果剤、植調剤等の当年の購入額 |
| 諸　 材　 料　 費 | 掛け袋、マルチ用ビニ－ル（除ハウス被覆用）、授粉用材料、出荷用ダンボ－ル等果実の生産から出荷・販売に至る経営活動に要する諸材料の当年の購入額 |
| 光　熱　動　力　費 | 農用機械・動力及び自動車の燃料、オイル類、加温材料、電力料金、水道  料金等の当年の支払い額（当年使用分の支払い額ではない。以下同じ） |
| 農　 機　 具　 費 | 小農具（かま、くわ、はさみ等）の当年の購入額、大農具（トラクタ－、ＳＳ、貨物自動車等で取得価額が20万円以上のもの）の減価償却費及び修繕費 |
| 農　用　建　物　費 | 農用建物（住宅、納屋、倉庫、農機具庫等で取得価額が約20万円以上のもの及び農用構築物)、用水路等の土地改良施設、果樹棚、堆肥盤等で取得価額が約20万円以上のものの減価償却費及び維持修繕費 |
| 園　芸　施　設　費 | 運搬施設（ケ－ブル、モノレ－ル等）、定置配管、スプリンクラ－、貯水槽、揚水機、ビニ－ルハウス、ガラス温室、加温施設等の減価償却費、維持修繕費及び購入補充費並びにハウス被覆材（ビニ－ル等）の当年の購入額 |
| 賃　借　料・料　金 | 農機具・建物の賃借料、共同防除・共同施設負担金、花粉開葯料、賃耕料等の当年の支払い額 |
| 土地改良費・水利費 | 土地改良区費、水利関連負担金等の当年の支払い額 |
| 支　払 い 小 作 料 | 当年の支払い額 |
| 物件税・公課諸負担 | 固定資産税（除土地）、自動車税等の当年の支払い額 |
| 負　 債　 利　 子 | 当年の支払い額 |
| 生産者拠出金等 | 果樹共済等 |
| そ　　の　　他 | 生産管理関連経費（技術習得に要する経費、パソコンや複写機等の経営管理資機材費）、雑費等の当年の支払い費、出荷経費等を含めて記載する。 |

８． 写真

　必要に応じて、園地の状況、農作業状況（剪定、収穫等）等のスナップ写真を添付する。

９． 病害虫防除

　必要に応じて、ベースとしている防除歴のコピーを添付する。